

(案)

第 8 回 審 議 会
資 料 1

第 4 号 様 式 (第 1 0 条 関 係)

会 議 録 (要 旨)

会 議 名	第 7 回 武 蔵 村 山 市 長 期 総 合 計 画 審 議 会
開 催 日 時	令 和 2 年 7 月 3 1 日 (金) 午 前 9 時 5 5 分 から 午 前 1 1 時 3 5 分 ま で
開 催 場 所	中 部 地 区 会 館 4 0 2 A B 学 習 室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出 席 者 : 和 田 委 員、阿 部 (慶) 委 員、阿 部 (和) 委 員、石 塚 委 員、佐 藤 委 員、杉 原 委 員、高 橋 (薫) 委 員、高 橋 (玲) 委 員、石 川 委 員、平 野 委 員 欠 席 者 : な し
議 題 等	1 報 告 事 項 (1) 第 6 回 武 蔵 村 山 市 長 期 総 合 計 画 審 議 会 の 会 議 要 旨 に つ い て (2) 今 後 の ス ケ ジ ュ ー ル に つ い て (3) そ の 他 2 議 題 (1) 基 本 計 画 に つ い て (2) そ の 他
結 論 (決 定 し た 方 針、残 さ れ た 問 題 点、保 留 事 項 等 を 記 載 す る。)	議 題 (1) 基 本 計 画 に つ い て : ・ 基 本 計 画 の 検 討 資 料 に つ い て、委 員 の 意 見 を 反 映 し、素 案 と し て 取 り ま と め る こ と と し た。 議 題 (2) そ の 他 に つ い て : ・ 次 回 の 審 議 会 は、8 月 1 7 日 (月) の 午 後 3 時 から 開 催 す る こ と と し た。
審 議 経 過 (主 な 意 見 等 を 原 則 と し て 発 言 順 に 記 載 し、同 一 内 容 は 一 つ に ま と め る。)	— 委 員 の 辞 任 と 後 任 の 委 嘱 に つ い て — 会 議 の 開 会 前 に、農 業 委 員 会 の 委 員 改 選 に 伴 い、田 代 委 員 が 辞 任 し、新 た に 石 川 委 員 に 委 嘱 し た こ と を 事 務 局 が 説 明 石 川 委 員 の 自 己 紹 介 1 開 会 (会 長) 本 日 は 全 委 員 が 出 席 し て お り、有 効 に 会 は 成 立 す る。傍 聴 者 は い な い。 2 報 告 (1) 第 6 回 武 蔵 村 山 市 長 期 総 合 計 画 審 議 会 の 会 議 要 旨 に つ い て 資 料 1 に 基 づ い て 事 務 局 が 説 明 — 質 疑 ・ 意 見 等 — (委 員) 異 議 な し。 (2) 今 後 の ス ケ ジ ュ ー ル に つ い て 資 料 2 に 基 づ い て 事 務 局 が 説 明 — 質 疑 ・ 意 見 等 — (委 員) 会 場 は 押 さ え て い る か。 (事 務 局) 仮 押 さ え を し て い る。 (3) そ の 他 参 考 資 料 に 基 づ い て、前 回 の 会 議 で 意 見 が あ っ た 内 容 に つ い て、反 映 状 況 を 事 務 局 が 説 明 — 質 疑 ・ 意 見 等 — 特 に な し。

3 議 題

(1) 基本計画について

資料3に基づいて事務局が説明

－質疑・意見等－

- (委 員) いじめや虐待の防止の対応の前に、その実態、傾向を分析し、早期に対応する取組が必要である。
- (委 員) 早期発見、予防に取り組んではいる。人権教育もその一環として位置付けて良いと思う。
- (事務局) 教育振興計画の改定の中でもいじめの問題は課題となっている。
- (委 員) オンラインを使って学校と家庭、長期に入院している子どもたちを含めて学習の機会が得られる環境を整備していく必要がある。タブレット端末など、すべてに行き届く環境が必要である。
- (委 員) オンライン環境については、中学校3年生と小学校6年生には整備しているが、本年度中に全児童生徒に整備する予定であり、双方向通信で授業ができるようになる。
- (事務局) ICT教育について、基本計画の中では、教育振興計画の推進という形で位置づけ、詳細な施策については個別計画に定めることとなる。
- (委 員) 通学時のスクールゾーンがあるが、守られていない。保護者やシルバー人材センターの人もいるが、見守るだけで注意はできない。警察にもっと取り締まりを強化してもらおう等でないと、安全確保は困難だと思う。
- (委 員) 人権に関する相談について、指標を削除することだが、少なくなることが望ましいものではあるので仕方ないと思う。相談の認知度70%を目指すとはどういうことか。
- (事務局) 相談については、件数の多い少ないが成果ではないと考えている。指標については所管課と改めて検討したい。各所管で、適宜市民アンケート等を実施しているので、そういった機会を捉えて認知度を測っていくことになる。
- (委 員) 奨学金制度の推進が削除となっている。経済格差が問題になっている現状で、ほかの形での支援策はあるのか。
- (事務局) 奨学金制度については、事業が廃止になった経緯等は所管課に確認する。
- (委 員) 図書館の利用登録者数が削除になっている。読書は人生のパートナーと呼べる素晴らしいことだと思う。図書館の利用に関する指標があった方が良い。
- (事務局) 図書館については、どう利用していくのか、新しい指標が出せるか所管に確認したい。図書館については、中央図書館という形で集約についての検討がされている。
- (委 員) 中央図書館という計画があるのであれば、記載してはいいか。方向性だけでも。
- (事務局) 生涯学習の項目で、生涯学習センターとして記載している。
- (委 員) 第4章のタイトルは、前の「自分らしく成長」から「学び活躍」に変更となっているが、「学び」を強調するのであれば、構成について工夫した方が良いのではないか。
- (会 長) 章のタイトルのあとに、「第1節 人権」が来るのでわかりにくいかもしれない。順を変えるか、各章にその章の理念を説明する文言を入れるか、再度検討した方が良い。
- (事務局) 表現方法については、今後校正を進める中で改めて検討させていただく。

	<p>(委員) 平和について、武蔵村山市は非核平和都市宣言をしている。陸軍少年飛行兵学校の跡地などもあったことから、平和を伝える資料館も整備されている。利用者が少ないので、体験を聞く機会を設けるなど充実していく必要がある。</p> <p>(事務局) 今回、市の南部をめぐる歴史散策コースを新たに指定したことに伴い、市内の戦跡について新たに記述している。もう少し強調できないか所管課と調整する。</p> <p>(委員) 学校給食の充実で、食育に関する事業の推進となっているが、どのような事業を想定しているのか。</p> <p>(事務局) 食育の推進については、現在、防災食育センターの整備を進めている。この防災食育センターを活用して、食育に関する展示などを行っていく。</p> <p>(委員) 食を通じた健康づくりのため食育は大事である。深く取り組んでほしい。</p> <p>(委員) 地域未来塾とは何か。</p> <p>(事務局) 地域未来塾については、元教員や、特定の分野についての知識が深い人など、地域の教育資源を生かした、地域と一体となった学習支援の取組である。今年度、全小中学校に設置する予定である。名称については、文部科学省が進めている取り組みに基づくものである。</p> <p>(会長) 地域未来塾は新規事業なので、もう少し明確に内容がわかるようにした方がよい。</p> <p>(事務局) 注釈をつけるなど、概要についての説明を加える。</p> <p>(委員) 特進講座が無くなったのは、成果が無かったということか。</p> <p>(委員) 特進講座は民間の塾の先生をお願いすることだったと思う。</p> <p>(事務局) 特進講座の廃止理由については、所管課に確認する。</p> <p>(委員) 歴史民俗資料館分館について、利用率が低いということであるが、分館の設置目的を、平和のためとか入れた方が分かりやすいと思う。</p> <p>(事務局) 所管課と調整する。</p> <p>(委員) 人権教育の推進を新たに設けているが、主旨としては偏見や差別をなくすことが主な目的であると思う。文章の前半と後半を入れ替えてはいかがか。</p> <p>(委員) 男女共同参画について、市職員の取組を入れる必要があるか。</p> <p>(事務局) 表現方法等を再度検討する。</p> <p>(委員) 農業について、特別生産緑地制度に対する取組が必要になると思う。</p> <p>(委員) 特定生産緑地については、農家へ周知を図っているところである。知らなかった、ということがないように農業委員会では考えている。農地の貸借もしやすくなったので、農をもう少しアピールしていかなければ、と思っている。多摩開墾は55ヘクタールくらいあり、道路の整備を進めているところであるが、トイレの整備もお願いしたい。</p> <p>(事務局) トイレについては、所管課でどのように考えているか、調整したい。事業としてこの基本計画に記載するのは難しいと思う。</p> <p>(委員) 高齢化している農家が農地を貸すことができると知っていれば、農業をやりたいという人に貸すことができるようになる。市民農園の取組をもっと充実してほしい。</p> <p>(委員) みかんの生産が少なくなっている。以前、学校給食を試食する機会があり、みかんが出されていたが、武蔵村山市産のみかんではなかった。絶やさないようにPRしてほしい。</p> <p>(事務局) 援農ボランティアは増やそうとしており、みかんを含め、市の特産物の生産が続けられるような取組を進めていきたい。</p>
--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

- (委員) 援農ボランティアという言葉は初めて聞いた。どのようなことをしているか。
- (事務局) 援農ボランティアは、産業観光課が事務局となって普及に努めている。受け入れる農家によって違うが、野菜の収穫を手伝っていただくなどしている。
- (委員) 募集は、農家個人が行っている。
- (委員) 農地の保全について、借りたい方がたくさんいると思う。障害者の就労支援の作業所で農地を借りようとしたが、その時はいろいろな壁があったが、それが変わってきている。障害者の作業所が借りられれば、農地の保全にもつながる。
- (委員) 武蔵村山に住み続けたいと思うのは、近くに生産者がいらっしゃるから。生産者を大切にしていきたい。
- (委員) 水源地の湧水が減少とあるが、なぜ減少しているのか。
- (事務局) 所管課に確認させていただく。
- (委員) 観光まちづくり協会とあるが、立上げがいつになるか。また、市と観光協会の役割分担はどのようになるか。
- (委員) デエダラ祭りは、観光まちづくり協会へ移管することを考えているか。
- (事務局) 観光協会については、登記は完了しているが、昨今の情勢で正式な立ち上げ発表の時期については検討中である。デエダラ祭りについては、現在も実行委員会形式でイベントを実施しており、事務局は市が担っているが、実施は市民の方が中心となっており、この役割を観光まちづくり協会が担うことも十分に考えられる。
- (委員) 景観について、狭山丘陵のみどりや里山景観と、具体的な言葉が入ってよかったと思う。
- (委員) 残堀川の流水が枯れてしまう現状がある。昔と比べると、今はきれいな水が流れており、子どもたちが遊んでいる。水量確保のためどのような取組を行っていくか。
- (事務局) 残堀川の水量については、都の管理なので、水量確保をお願いしていくこととなる。
- (委員) 多摩川の羽村堰から取水した水を分けてもらうことはできないか。
- (事務局) 流域は細かく分かれていて、どこに排水するか決まっているため、難しいと思う。
- (委員) 狭山丘陵がまちづくり条例で景観重点地区に指定されているが、これはガイドラインのため実際には守られていない。計画上は緑地率等が決まっているが、実際は一般市民が購入後に駐車場に変わったり、別の使い方になっている。まちづくり条例を変更する必要があるのではないか。
- (事務局) マスタープランの改定が予定されており、その中で検討することとなると思う。
- (委員) 中藤公園は広くなると考えてよいか。
- (事務局) 中藤公園は、広大な計画面積があり、全体の中の一部を開園している。
- (委員) エコ住宅とはどのようなものか。
- (事務局) 断熱塗装等をして、空調効率を良くし省エネルギー化を図るといったものである。
- (委員) ダイオキシンについて、環境基準を下回っているという記述があるが、下回るという表現では良いことなのか悪いことなのかわかりにくいのではないか。
- (事務局) 達成している、といった表現に変更する。

	<p>(委員) 日帰り型の観光地とあるが、そのためには交通手段が必要である。ハブということでイオンモールなどにレンタサイクルを設置することを入れてはいかがか。</p> <p>(事務局) 所管課と調整する。</p> <p>(委員) 憩いの場、コミュニティ活動やレクリエーション活動の場、子どもたちの遊び場として重要とあるが、子どもたちが遊べる環境が整っているか。ボール遊びが禁止されていたり、現状は、いろいろと制限がある。</p> <p>(事務局) 所管課と調整する。</p> <p>(委員) SDGsをどのくらいの人が理解できているか。市民の理解を進めるような施策を記載するべきではないか。</p> <p>(事務局) 検討する。総合戦略では位置づけている。各所管から市民へ周知をお願いしている。</p> <p>(会長) 総合戦略に位置づけているのであれば、長期総合計画でも位置づけが必要だと思う。素案の段階で記述を検討していただきたい。</p> <p>(事務局) 関係各課と調整する。</p> <p>(2) その他</p> <p>(事務局) 次回の会議の日程であるが、今回は8月17日(月) 15:00からとしたい。新型コロナウイルス感染症の状況によっては、対応を検討させていただく。</p> <p>(委員) 異議なし。</p>
<p>会議の公開・非公開の別</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 公開 傍聴者：__0人</p> <p><input type="checkbox"/> 一部公開</p> <p><input type="checkbox"/> 非公開</p> <p>※一部公開又は非公開とした理由</p> <p>{ }</p>
<p>会議録の開示・非開示の別</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 開示</p> <p><input type="checkbox"/> 一部開示(根拠法令等：)</p> <p><input type="checkbox"/> 非開示(根拠法令等：)</p>
<p>庶務担当課</p>	<p>企画財政部 企画政策課(内線：373)</p>